

清

中国法書選
59

doct / live / 古
入註商標
在文川阿裡索古書书城 获取更多电子

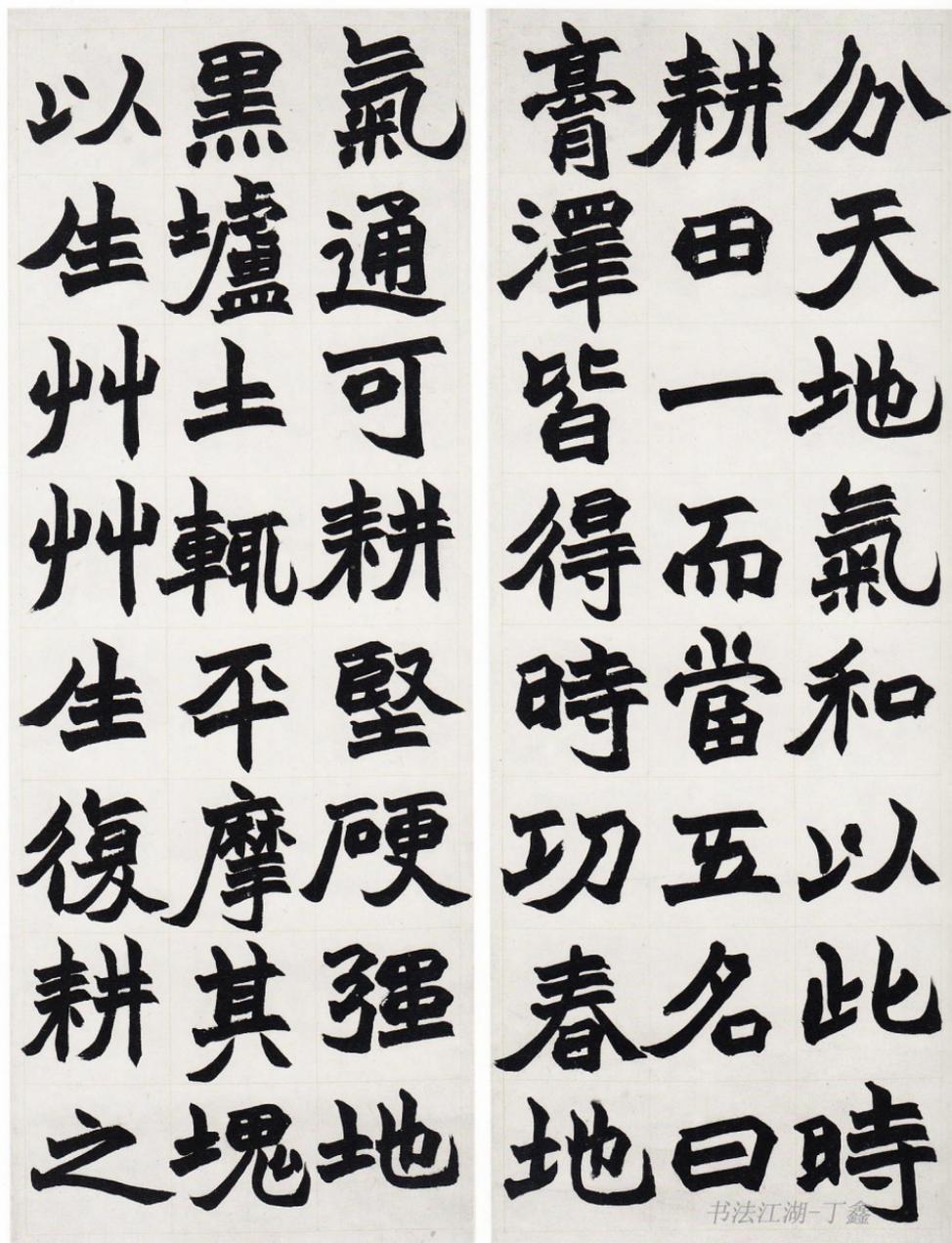
趙之謙集

允耕之本在于趣時
 和土務糞澤旱鋤穫
 春凍解地氣始通土
 一和解夏至天氣始
 暑陰氣始盛土復解
 夏至後九十日晝夜

書法江湖一丁鑫

凡耕之本。在于趣時和土。務糞澤。旱鋤早穫。春凍解。地氣始通。土一和解。夏至天氣始暑。陰氣始盛。土復解。夏至後九十日。晝夜

凡そ耕の本は、時に趣いて土を和し、糞沢に務め、早く鋤き早く穫するに在り。春凍解け、地氣始めて通じ、土は一に和解す。夏至に天氣始めて暑く、陰氣始めて盛んにして、土は復た解く。夏至後の九十日に、晝夜〔分かれ〕、



書法江湖-丁鑫

分。天地氣和。以此時耕田。一而當五。名曰膏澤。皆得時功。春地氣通。可耕堅硬強地黑墟土。輒平摩其塊。以生艸。艸生復耕之。

天地の氣は和す。此の時を以て田を耕せば、一にして五に当たる。名づけて膏澤こうたくと曰い、皆な時功を得るなり。春に地氣通ずれば、堅硬の強地黒墟土くろきよどを耕す可し。輒ち其の塊を平摩し、以て草を生ぜしめ、草生じて復た之を耕す。